

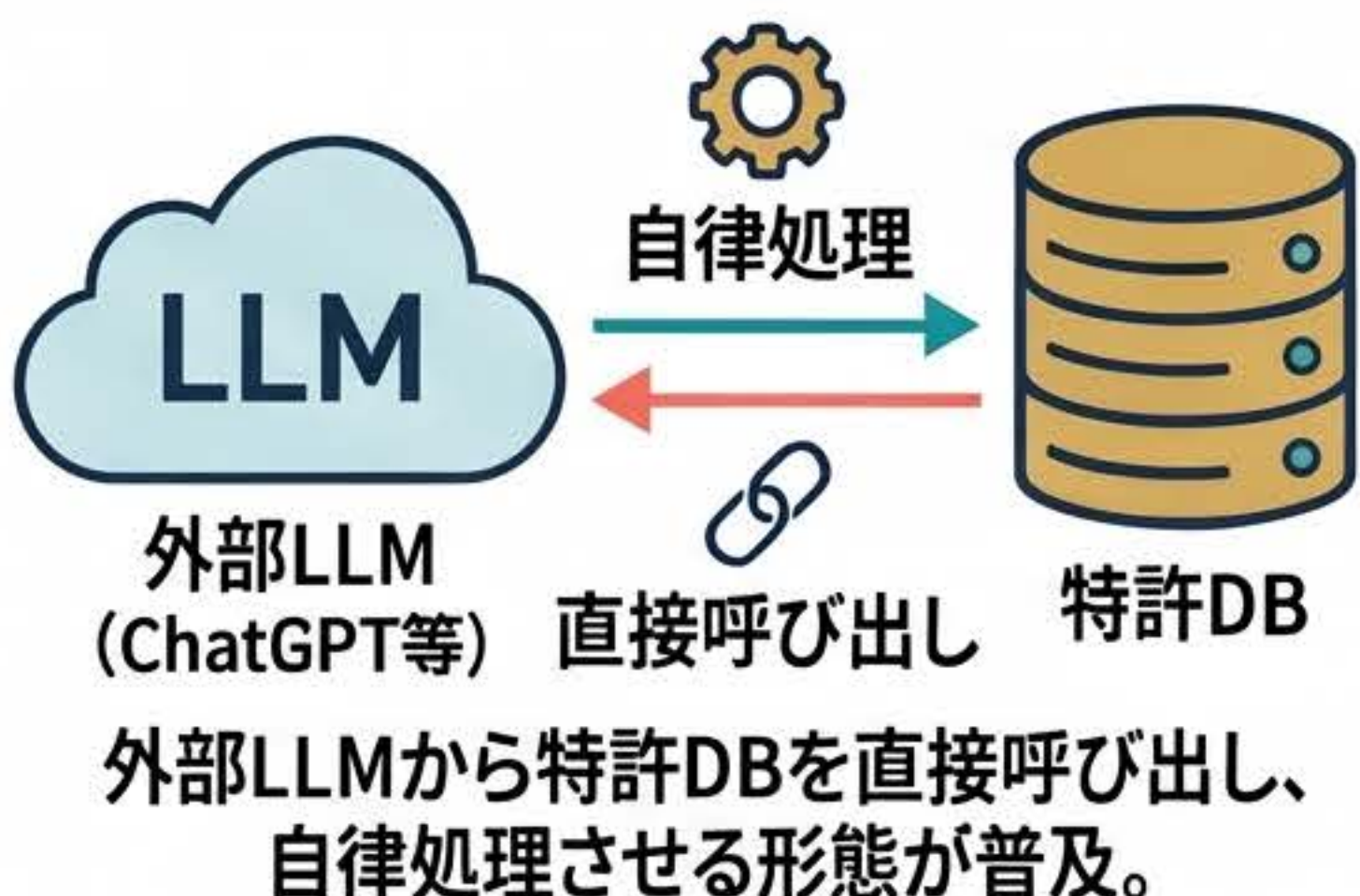
2026年知財・情報フェアにみる 「知財戦略の構造転換」と「AI自律化」の最前線

2026年のフェアでは、知財実務の「AIエージェント化」と研究開発から経営戦略までの「垂直統合」が鮮明に。AIが企業の無形資産価値を最大化する基幹インフラへ変容した歴史的転換点を示唆。

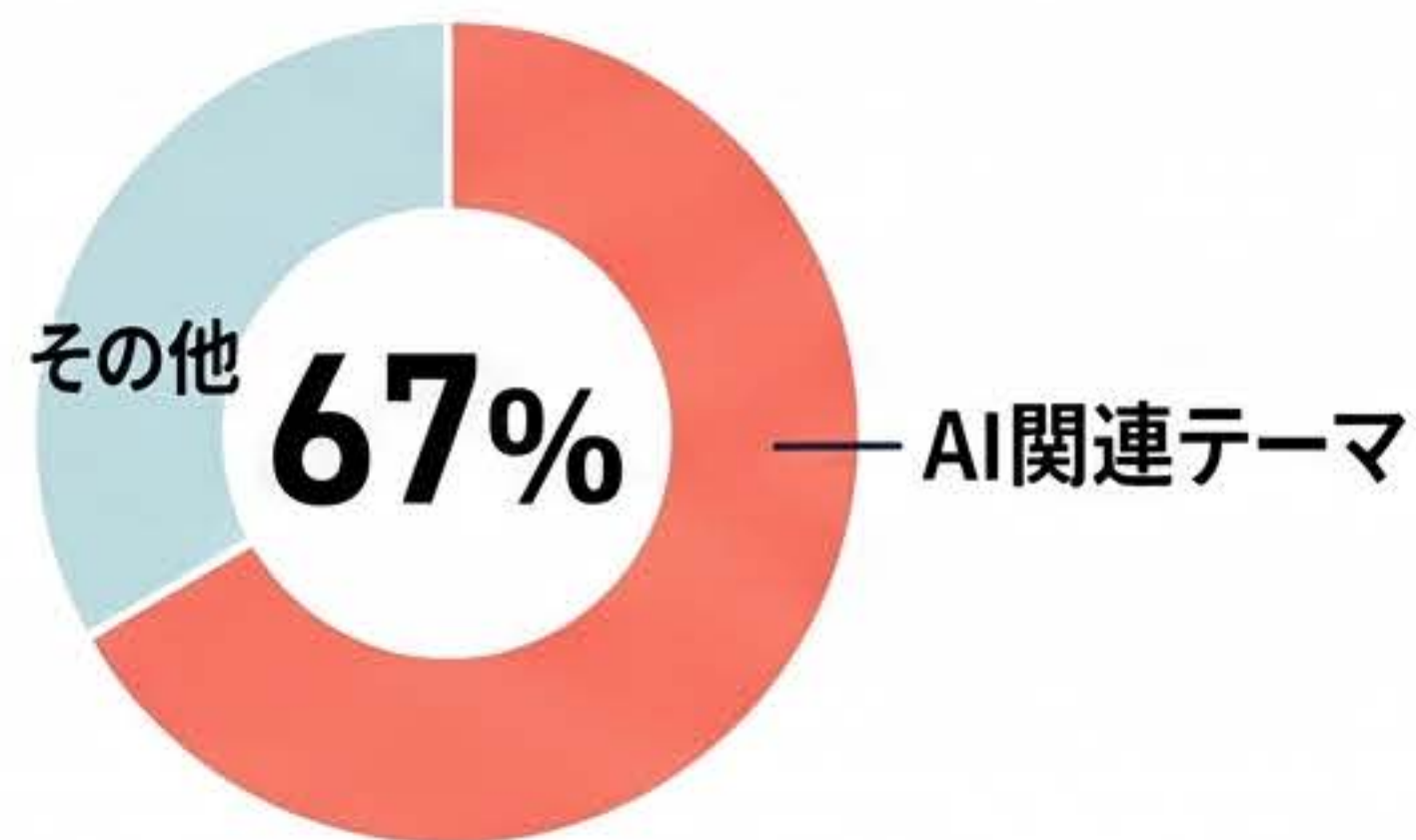


生成AIの進化: ツールから「自律型エージェント」へ

標準接続プロトコル(MCP)による
「ツールの境界融解」

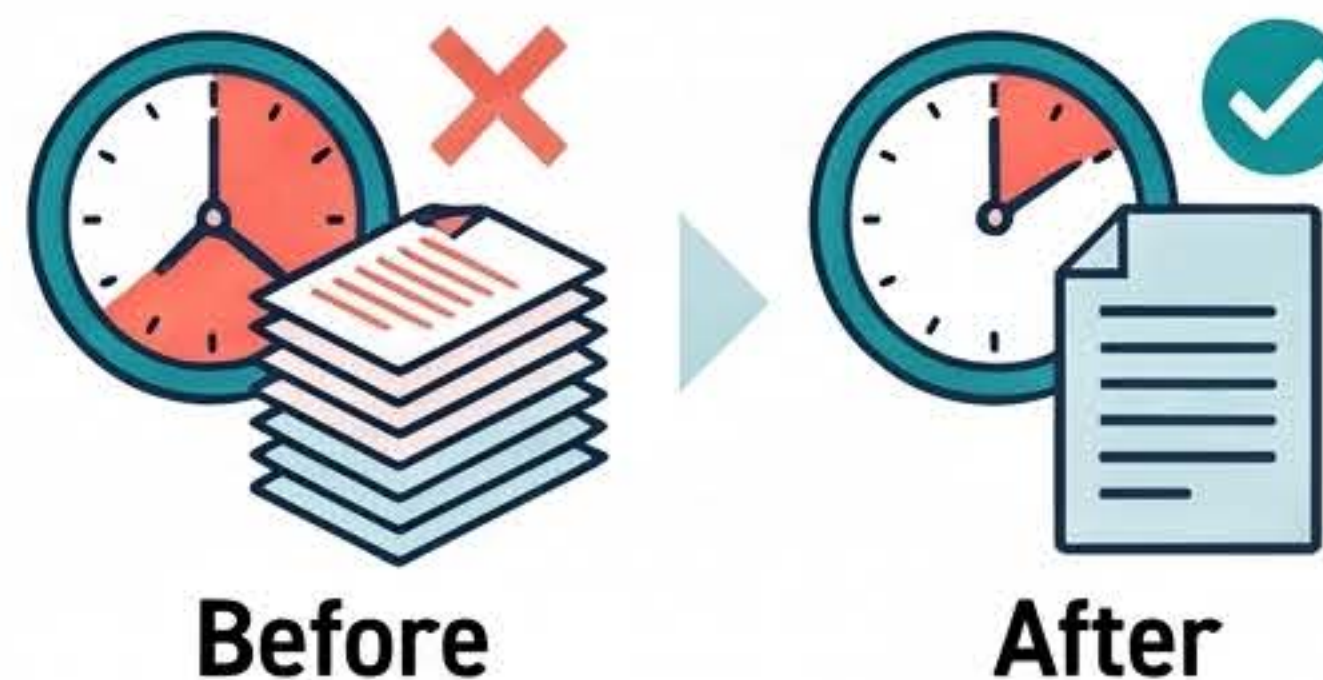


全講演枠の67%がAI関連テーマ



出展者の約半数が生成AIを前面に掲げ、検索式作成の支援はもはや「標準機能」に。

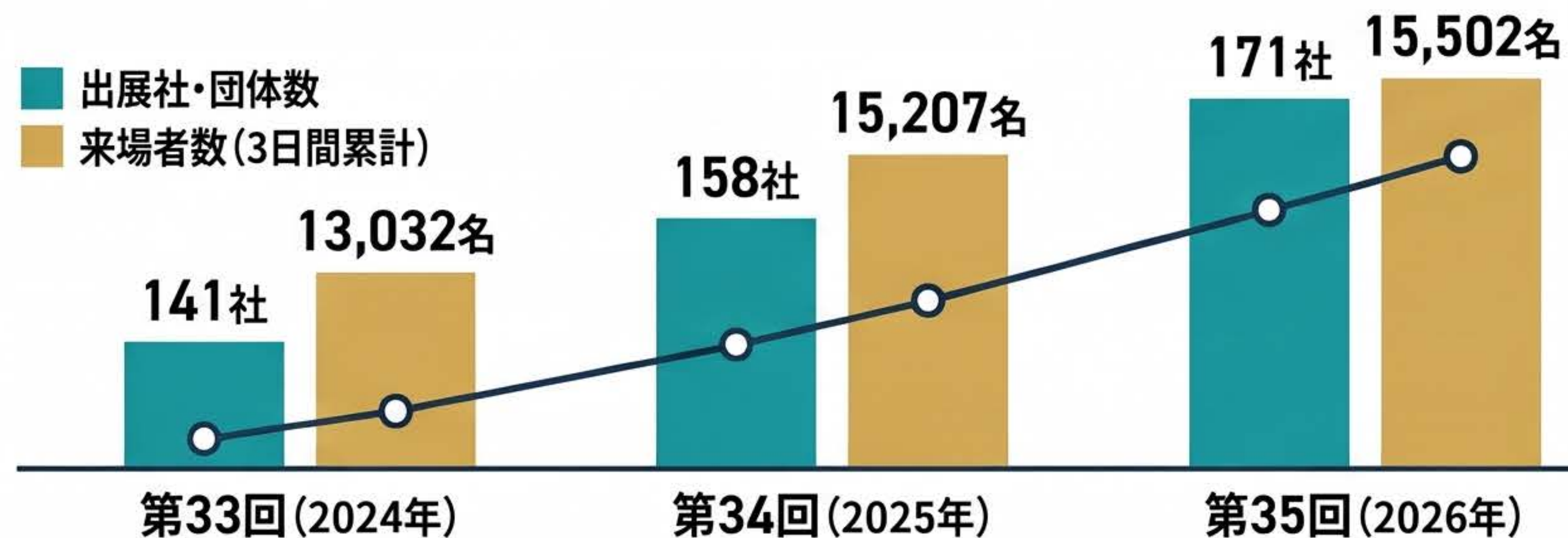
業務効率の劇的向上
(確認時間を最大90%削減)



AI要約や公報テキストの圧縮技術により、精読時間やトークンコストの課題を解決。

知財戦略の転換: 権利防衛から「企業価値創出」へ

研究開発から経営・財務までの「垂直統合」



セキュリティ意識による「二極化」の進展



人×AIの「ハイブリッドモデル」への移行

